

日本機械学会計算力学部門  
CMD2020 計力スクウェア研究報告集

原稿公募の予告案内（7月15日更新版）

■背景とねらい

計算力学部門主催で毎年9月～11月に開催してきた計算力学講演会について、今年はインターネット形式も含めて開催を断念することとなりました。しかしながら、計算力学に関する最新の研究成果を発信する何らかの場を毎年絶やさずに確保する意義は大きいと考えます。

計算力学講演会は、他部門に比して産業界からの参加者が多いという特徴があり、計算手法・アルゴリズム開発に携わる研究者、CAEソフトウェアの研究者・技術者、そしてCAEソフトの開発・ユーザサポートを担う技術者が一堂に会する場です。講演者と参加者が直接会って質疑応答を行い、懇親会でさまざまな情報交換や雑談をする機会は重要であり、その中でしか得られない情報や着想が多くありますが、2020年度は、インターネット上で計算力学分野の研究者・技術者が気軽に集う広場（スクウェア）を設けて、従来の講演会が果たしてきた役割の一端を担うことを目的としています。

CMD2020 計力スクウェア研究報告集は一般公募原稿により構成します。計算力学部門 HP (<https://www.jsme.or.jp/cmd/index-j.html>) に開設する広場には誰でも自由に入れるように、閲覧は無料としますので、著者にとっては講演会以上の情報発信力も期待できる企画といたしました。投稿、閲覧のいずれでも結構ですので、是非スクウェアにお越しください。

■公募原稿のスコープ

所定の書式で、読者が内容を十分に理解できる分量である3頁～5頁の原稿を公募します。原稿種別はあらかじめ設定しませんが、以下の例のように幅広く受け付けます。(1)～(5)のいずれにも該当しない原稿の投稿を妨げるものではありません。特に、ソフトベンダーの方や、製品開発や製造プロセス設計に活用されている事例など、例年の講演会以上に企業の方からの多くの投稿を期待しています。もちろん、大学・研究機関からの投稿も歓迎いたしますので、奮ってご応募ください。

(1) 新規の研究成果や萌芽的研究の報告

(2) 総説的な原稿：これまでの研究成果をまとめてわかりやすく説明した原稿やレビュー原稿

(3) 製品設計・開発へのCAEソフトの活用事例

(4) CAEソフトの解析機能や可視化機能の紹介

必ずしも新規搭載された機能に限りません。広告に終始せず、本会員の興味の対象である計算技術や応用事例などにもふれていただくようお願いいたします。ユーザ会とは違った学会ならではの情報発信力があるものと考えます。

(5) 問題提起型の原稿

現状の課題や将来の方向性を述べた原稿で、海外での動向の解説や、(3)あるいは(4)と組み合わせた内容は、多くの閲覧者にとって有意義なものとなり、ニーズとシーズのマッチングに繋がる可能性を秘めていると考えます。

(6) その他、計算力学に関連する内容、入力データ取得やValidationのための実験・計測など

## ■著者向けインストラクション

技術的な内容の査読は行いませんが、不適切な題目や内容（たとえば商品の宣伝に終始した原稿、軍事に関わる内容、他者の論文や個人を批判する文言など）に対しては、修正を求めることや、収録しないこともあります。

原稿提出の際には、著作権は日本機械学会に委譲していただきます。これは例年の講演会とまったく同じです（参照：<https://www.jsme.or.jp/cmd/conference/cmdconf19/doc/yorvo.html>、2019年計算力学講演会）

言語は日本語または英語とし、図表のキャプションは日本語、英語のどちらでも構いません。他の論文・著書・WEBに掲載された図表をそのまま使用することはできません。詳細は、今後公開する執筆要領をご参照いただくか、末尾の連絡先までお問合せください。

筆頭著者は本会個人会員であることを原則としますが、筆頭著者が企業の場合、所属機関が本会特別員（法人会員）であれば結構です。連名者の会員資格は問いません。なお、同一の筆頭著者が複数件数を応募いただいても結構です。研究報告集編纂にかかる費用の一部を著者に登録費として分担いただきます。登録費は原稿1件ごとに課金させていただきます。

連名者の中の代表著者のEメールアドレスを原稿に記載いただきます。公開後、ある一定期間内に閲覧者からEメールによる質問を受け付け、回答いただくことで、講演会での質疑応答の代替といたします。当然ながら、質問する閲覧者にも研究者倫理が求められるところであり、双方に意義あるスクウェアとなるものと期待しています。

## ■登録費

原稿1件ごとに、筆頭著者の会員資格により経費の分担をお願いいたします。

一般（非学生）	本会正員（個人会員）	10,000円
	本会特別員（法人会員）	12,000円（注1）
学生	本会学生員（個人会員）	3,000円

（注1）企業の方には、例年の計算力学講演会では個人会員に限っていましたが、今回は所属機関が本会特別員（法人会員）である場合には個人会員として入会いただかなくても結構です。ただし、個人会員の登録費とは若干の差をつけさせていただきます。

## ■申込から公開までのスケジュール（予定、変更があれば部門HPにてご案内します）

(1) 執筆要領の詳細の案内	2020年7月27日(月)頃
(2) 登録期間	2020年8月17日(月)～9月7日(月)
(3) 原稿提出期間	2020年9月14日(月)～9月30日(水)
(4) 登録受付番号の通知	2020年10月30日(金)まで
(5) 登録費振込期間	2020年11月4日(水)～11月20日(金)
(6) 報告集公開	2020年12月7日(月)
(7) 質問受付期間	2020年12月9日(水)～12月10日(木)

著者向けに、各項目の補足説明を以下に記します。

### ◇登録前の準備のお願い

筆頭著者の方が登録費区分に該当しない場合は、登録前に必ず入会手続きを行ってください

い。本会の場合は仮会員番号を取得いただければ登録可能です。筆頭著者が連名者の会員番号を使って登録したことがわかった場合は、たとえ原稿提出後でも不受理とすることがあります。事務処理を円滑にするためにご理解ご協力をよろしく願いいたします。

#### ◇登録いただく項目

筆頭著者の方が氏名、ご所属と身分、会員資格と会員番号、学生の場合は指導教員名、連絡先（Eメール）、発表題目（和文または英文）・キーワード（5つまで、和文または英文）を登録してください。この段階では連名者およびEメールでの質問を受け付ける代表著者の情報の入力はありません。報告集の編修時にキーワードにしたがって分類し、章立てする予定です。

#### ◇原稿提出

案内開始から報告集公開までの日数を減らすため、通常の講演会と違い、登録後に採択通知と執筆依頼をお送りするのではないことにご留意ください。筆頭著者の方から原稿（PDFファイル）を提出してください。提出方法は執筆要領・テンプレート内にご案内します。PDFのファイル容量には制限をつけさせていただき予定です。また、ビデオは登録いただけません。原稿には、連名者、閲覧者が質問を送るための代表著者とEメールアドレスも記載していただきます。

#### ◇登録受付番号と登録費振込

筆頭著者に登録受付番号と登録費の金額をEメールでご連絡します。連名の場合、代表著者ではなく筆頭著者に連絡しますのでご留意ください。イベントペイを使って、筆頭著者の氏名と原稿受付番号を用いて登録費を振り込んでいただきます。支払い者は筆頭著者でなくとも連名者の内のどなたでも結構ですが、領収書は筆頭著者宛に発行いたします。イベントペイについては下記をご参照ください（講習会用のシステムを流用いたします）。

<https://www.jsme.or.jp/organization/department/payment-kosyuu/>

#### ◇公開と質問受付

12月7日に本会計算力学部門HPに設けるスクウェアにて公開します。登録費振込が確認できない場合は収録されません。質問受付と回答を円滑に進めるには研究者倫理が前提となります。不適切な質問があった場合は、末尾の学会事務局に質問メールを転送ください。

### ■引用方法

収録された原稿は査読付き論文ではありません。WEB講演論文集と同等の扱いで以下のように引用してください。

機械太郎, 計力花子, 新しい計算方法および可視化方法の開発,  
日本機械学会計算力学部門 CMD2020 計力スクウェア研究報告集,  
(学会内の番号 ATS-\*\*-\*\*), (登録受付番号 Report No. \*\*\*\*\*), (2020).

### ■企画実行委員（7月15日現在）

委員長 高木 周（東京大学、計算力学部門 部門長）  
幹事 高野直樹（慶應義塾大学、計算力学部門 副部門長）  
" 村松真由（慶應義塾大学、計算力学部門 広報委員会委員長）  
委員（五十音順）

秋元秀介 (株JSOL)  
畔上秀幸 (名古屋大学)  
石原大輔 (九州工業大学)  
今井陽介 (神戸大学)  
北 栄輔 (名古屋大学)  
工藤啓治 (ダッソー・システムズ(株))  
小金丸正明 (鹿児島大学)  
下川智嗣 (金沢大学)  
下山幸治 (東北大学)  
田上大助 (九州大学)  
垂水竜一 (大阪大学)  
新関 浩 (日本イーエスアイ(株))  
萩原世也 (佐賀大学)  
藤川正毅 (琉球大学)  
三好昭生 (株インサイト)  
和田義孝 (近畿大学)

浅井光輝 (九州大学)  
伊井仁志 (首都大学東京)  
磯部大吾郎 (筑波大学)  
小坂部和也 (みずほ情報総研(株))  
金 哲晃 (株ソフトウェアクレイドル)  
工藤淑文 (アルテアエンジニアリング(株))  
越塚誠一 (東京大学)  
下田昌利 (豊田工業大学)  
杉本 剛 (旭川工業高等専門学校)  
只野裕一 (佐賀大学)  
永井 亨 (エムエスシーソフトウェア(株))  
西 正人 (株JSOL)  
平野 徹 (ダイキン情報システム(株))  
松本陽司 (サイバネットシステム(株))  
山田崇恭 (東京大学)

#### ■学会連絡先

不明点やご質問は遠慮なく下記までお問い合わせください。

日本機械学会総務グループ 計算力学部門担当：近藤

Email: [info\\_cmdsquare20@jsme.or.jp](mailto:info_cmdsquare20@jsme.or.jp)